



コンテスタ

2008. 11



パーベキューとコンテスト

先日美容院に行ってきました。私は散髪屋さんしか行ったことがなく、美容院は初めての経験でした。5店舗を経営する美容院S社のI社長に誘われて、こわごわ行ってみました。

美容院は、給料が高くない割には労働時間が長く、社員の定着率の低い業界です。やっと育てたと思ったら、自分の店を持ちたいと独立して行く人も多いのです。

そんな中でS社は社員の定着率がよく、業績好調で、急成長しています。私はその秘訣を探ろうとも思い、行ってみたのです。

若い女性が担当についてくれ、頭を洗ってくれます。私のようなおじさんにも一生懸命話しかけてくれます。

「仕事は楽しいですか？」と聞くと「はい、楽しいです」とその女性が答えます。

「毎日遅くまで立ち放しでたいへんなのに、何が楽しいのですか」

「パーベキュー大会が楽しいです。」

「パーベキュー？」

詳しく聞くと、毎年プロジェクトメンバーが選ばれ、場所の選定、道具の用意、材料の調達等々行うそうです。そして、当日はさまざまな趣向があり、とても楽しいのだそうです。

「また、コンテストもあります。賞をとるために懸命に練習し、受賞すると賞品がもらえるのです」とその女性がうれしそうに話してくれました。50名の社員が一同に集まり、洗髪、パーマなど与えられたテーマごとに技を競うのです。

人のやる気の源泉は、経済的要因と社会的要因です。経済的要因とは、給料、休日、正しく評価されていること、社会的要因とは、職場の人間関係、達成意欲などです。

S社は、コンテストにより経済的要因を、パーベキューにより、社会的要因を満たしているからこそ、社員満足が高く、その結果として顧客満足が高く、業績好調なのでしょう。

社員のやる気は業績そのものです。

降旗 達生

ISO9001：2008の動向 第2回

ISO9001:2008への移行要点の解説をお伝えする、3回シリーズの第2回です。



今回は、ISO9001：2008の第2回目です。前回の記事でご説明させていただいた通り、2008年版の改訂では基本的な要求事項に変更はありません。具体的には、ISO9001：2000の要求事項の下に書かれている「参考」が大幅に改訂されます。さらにこの改訂は先に発効されてい

るISO17021：2007（各審査機関の順守事項：ISOを適合性から有効性に発展させるための国際規格）と強くリンクしています。

2000年版改訂のときは、その前の1994年版の影響を強く受け、2000年版マニュアルも1994年版に書いていた記述で、そのまま使える部分は触らずに「そのままにしておけ。」と考えた企業様も少なくありません。ところが、それが世界中で悪影響を出し始めてしまいました。例えば、文書化された手順を要求している「4.2.3：文書管理、4.2.4：記録の管理、8.2.2内部監査、8.3：不適合製品の管理、8.5.2：是正処置、8.5.3：予防処置」などは、誰でも知っていることさえも手順化

していなければ不適合にされるものと考えてきましたし、実際の審査でも、「QMに記述されている通りにできていない！」と、重箱の隅をつつくようなやり方をしてきたことも否定しません。

特に企業の生き残りをかけた熾烈な戦いを強いられている建設業者（例が悪いかもしれませんが、死ぬか生きるかをかけてICUのベッドで治療を受けている患者さん）に、「文書の作り方が間違っています。」と指摘することが、はたして意味があるのでしょうか？そんな馬鹿な指摘をするのではなく、「いまこの患者さんを生かすためには何が必要か」ということを考えて審査しなさい...というのがISO17021の真意です。

それとリンクさせつつ、規格要求事項の考え方を「各企業にベストマッチ」した内容で柔軟に捉えてくださいというのが、2008改訂の真意と考えて間違いないと思います。さて、皆様の会社では見たこともないような「規定集」などは存在していませんか？

品質・環境主任審査員 山口 工



やらされ感の無い 仕組み作りを目指して

株式会社 眞栄
管理責任者 吉田 知裕



株式会社眞栄（以下当社）では、時代と業界の流れを背景に、環境に対する取り組みとして、ISO14001を取得した。当社は、建築、土木、造園、塗装工事等、多岐にわたる工事を実施しているため、その環境負荷を低減し、効果につながる活動にいかに関与かが課題であった。

そのため1年間の準備期間では、工種が異なる従業員同士が話し合う会合

を継続した。その会合では、全作業工程を見直し、原価低減につながるリデュース、リユースを織り込むことを検討した。

その取り組みの中で、社員それぞれの環境に対する温度差がなくなっていくのを感じると共に、コミュニケーションの重要性を再確認した。

今後の運用として、本当の意味での『やらされ感の無い当社の仕組み作り』が必要不可欠であると考えている。全社員に

て改善活動を継続的に行い、更なる原価低減につなげると共に、企業コンプライアンスの徹底と、お客様に満足していただけるサービスを提供していきたい。

会社概要

株式会社 眞栄
〒470-0342
豊田市大清水町南岬1-447
TEL 0565-33-9211

資格案内

「建設業経理士」

建設業者における会計処理の知識と能力の向上を図り、経営の改善に資することを目的とした試験。日商簿記検定試験等の一般的簿記知識に加え、業界内の独自の簿記知識が要求されますが、その大部分の学習範囲は重複しているため日商簿記検定学習者には取得し易い資格と言えます。

受験料	1級（1科目）	7,200円	合格率 (前回開催 までの平均)	3級	64.5%	2級	47.3%
	1級（2科目）	10,300円		1級（財務諸表）	20.0%	（財務分析） 29.6%	
	1級（3科目）	13,300円		（原価計算）		35.1%	
	2級	6,100円					
	3級	5,100円					
	2・3級同日受験	11,200円					
試験日	第5回：平成21年3月8日（日）		申込日	11月10日（月）～ 11月30日（日）			
	学歴・年齢・性別・国籍による制限はなし。			試験内容			
受験資格	2級からの受験や、2・3級を同日に受験することも可能。		2級：建設業の簿記・原価計算及び会社会計 実践的な建設業簿記、基礎的な建設業原価計算、決算等の実務。				
			1級：建設業原価計算・財務諸表論及び財務分析 建設業簿記、建設業原価計算及び会計学、商法その他会計に関する法規、建設業の財務諸表の作成及び経営分析。				